



Title	編集後記
Author(s)	川本, 思心; 種村, 剛
Citation	科学技術コミュニケーション, 28, 75
Issue Date	2021-03
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/80615
Type	bulletin (other)
File Information	JJSC28_editorial-note_colophon.pdf



[Instructions for use](#)

科学技術コミュニケーション 第28号 編集後記

これまで第26, 27, 28号の3号にわたって編集長を務めてきましたが、その中で幾つかの試みをしました。ひとつ目が前号から復活した編集後記です。ふたつ目が公開時期の追加です。これまで本誌は年2回、6月頃と12月頃に発行していました。しかし投稿機会を増やすために今後は年4回、およそ3~4ヶ月ごとに公開の時期を設定することにしました。具体的には、本号では先行pdf公開を10月に、後続pdf公開を3月とし、双方まとめた冊子を3月に発行しました。なお、これに伴い掲載順が変わっています。これまでは論文・報告・ノートの種別順でしたが、これからは種別に関係なく、採録順となります。JJSCでは引き続き冊子も印刷していきますが、長期的にはオンラインを中心としたジャーナルに移行していくことになるでしょう。

一方、前号に対するアドバイザーからの御指摘にもあったように、論文が掲載されていないこと、論文・報告・ノートの種別の位置づけ不明瞭さは未解決のままです。紙面は限られていますが、ここで簡単に種別について述べたいと思います。まず「論文>報告>ノート」という価値の順位はない、ということを強くお伝えします。それぞれは別の方向性をもつ論考です。「論文」とは科学技術コミュニケーション論における問いがあり、それをデータや事例、理論に基づいた考察で明らかにして新規の知見を目指そうとするものです。「報告」とは単なるイベント報告ではなく、従来の事例を踏まえた上で、どこが新しく、今後実践や研究を深める意義があるのかを一定程度の分析をもとに示すものです。拙稿「包摂的／再帰的サイエンスコミュニケーション研究をめざして」(サイエンスコミュニケーション9(2)12-17, 2019)も参考にさせていただければ幸いです。

本号で編集委員長を退任しますが、次号からは一委員として引き続きJJSCに貢献したいと思います。
川本 思心 (編集長)

JJSC28号が完成しました。本号は前号に引き続き、緊急小特集「新型コロナウイルス感染症の世界的流行と科学技術コミュニケーション」が生まれ、緊急小特集ノートが2報掲載されました。室井宏仁氏らによる「COVID-19感染拡大下における博物館施設のオンライン発信の傾向と分析」はCOVID-19の流行下で新しい情報発信の工夫が模索されていること、木村祐哉氏らの「新型コロナウイルス感染症がペット飼育者にもたらす心理・社会的困難」は飼い主がペットのウイルス感染に対して不安を抱えていることを明らかにしています。どちらも新型コロナウイルスと社会に関するリアルな記録です。

本号はノート1報、報告3報を採録しました。仲居玲美氏らの「綿毛を取り扱うアート作品を通じた生命の表現について」は鑑賞者の多様な生命観が作品の言語化から浮き彫りになることを示しています。木村成介氏らの「多様な視点からトランスサイエンスについて考えるサイエンスイベントの設計と実践」は2019年にCoSTEPの演習で実施したワークショップの過程をデータ化し、綿密に分析しています。玉澤春史氏らの「宇宙政策を扱う対論型サイエンスカフェ」は先端科学技術の実装における市民の民主的参加に係る重要な知見を明らかにしました。久保田祐貴氏らの「参加者の自発的交流と参画を促す科学技術コミュニケーション」は参加者同士の対話を創発するための工夫が示されていました。このように本号の論考では、対話の場のデザインに関するユニークな考察が展開されています。

JJSC29号の小特集は「オンラインを用いた科学技術コミュニケーション」を企画しています。直接会えない人との対話を可能にするオンラインデバイスは今後の科学技術コミュニケーションの鍵になると考えられます。多彩な論考をご期待ください。
種村 剛 (副編集長)

編集委員会委員

池田 貴子	奥本 素子	川本 思心(編集長)	工藤 充
佐々木 亨	種村 剛(副編集長)	西尾 直樹	朴 炫貞
山下 俊介			

編集委員会補佐

梶井 宏樹	原 健一
-------	------

アドバイザー

加納 圭	滋賀大学 教育学部 教授
竹田 宜人	北海道大学 大学院工学研究院 客員教授

本誌は、北海道大学学術成果コレクション (<https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>) に登録されています。このURLにより、オンライン版を無料で読むことができます。元の原稿においてカラーで作成された図表類は、オンライン版ではカラーのまま掲載しています。投稿規定や執筆要領は、本誌のウェブサイト (<http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/jjsc/>) に掲載しています。

『科学技術コミュニケーション』第28号

Japanese Journal of Science Communication, No. 28

2021年3月発行

編 者 『科学技術コミュニケーション』編集委員会
<http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/jjsc/>
<https://www.facebook.com/jjsc.jp/>

発 行 者 北海道大学 高等教育推進機構 オープンエデュケーションセンター
科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)
060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
<http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/>

ISSN 1881-8390
